



学校だより

けやき

十和田市立北園小学校
3月号 (455号)
令和8年2月27日発行
文責：教頭 (山形)
電話：23-4361



冬季オリンピックから学んだこと 最後まであきらめない大切さ



校長 江渡 俊晴

イタリアのミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催され、日本選手は24個のメダルを獲得しました。冬季オリンピックでは、最も多いメダル数だったとのこと。期間中は毎日のように競技の様子が伝えられ、感動的な場面を幾度となく目にしてきました。

特に、フィギュアスケートのペアに出場した三浦璃来選手と木原龍一選手(りくりゅうペア)は、前日のショートプログラムで、練習でも出ていなかったミスが出て5位に沈み、メダル獲得が危ぶまれました。厳しい練習を積み重ね、努力し続けてきたからこそ、失敗した後の落ち込み様はすごかったですね。それでも、お互いに勇気付け合い、再度立ち上がり、最後まであきらめずにフリーの演技にチャレンジした結果、何と歴代世界最高の得点で、この種目では日本勢初のメダルを獲得しました。しかも逆転の金メダル！

“**夢を叶えよう太陽っ子**”をスローガンに掲げている本校にとって、勇気や希望につながるたくさんのことを教えていただいた冬季オリンピックでした。そこで、校長として、子供たちにどのようなメッセージを伝えることができるかを考えてみました。

- 日本代表選手になるために、そしてメダル獲得をめざし、努力しなかった人は一人もいません。途中であきらめた人も一人もいません。
- あきらめなければ、必ず夢をつかめるとは限りませんが、あきらめなかったことが歴代最高得点につながり、夢につながっていたと言えますね。



しかし、途中であきらめずに粘り強くチャレンジし続けたからといって、全ての選手が夢を叶えることができたとは言えません。メダル獲得や8位入賞をめざしていた選手も、手が届かずに悔しい思いをした選手の方がはるかに多いのが現実です。それでも、子供たちに**努力し続けることの大切さ**についてどのようなお話ができるかを、調べたり考えたりしてみました。



- 努力した人がみんな100点を取れるわけではありませんが、100点を取った人は、みんな努力していた。
- 100点は取れないかもしれない。でも、0点になる努力は一つもない。
- 今の自分がかんばるのは、未来の自分に「ありがとう」って言うため。
- あきらめなかった自分を、自分が一番にほめてあげよう。

これからも、日々の学校生活の中で目標やめあてを立て、最後まで**あきらめず**に粘り強く取り組み努力し続けることで、小さな成功体験を積み上げてほしいと思います。また、目標を達成できなかったとしても、培った粘り強さを次の目標達成に向けたエネルギーに変えながら、一つ一つの経験を“自信”と“夢の実現”につなげていってほしいと思います。

冬でも元気に楽しもう！～北園ウィンターフェスティバル～



2月15日、学校、PTA、北園地区体育振興会が「冬でも元気に体を動かす子供を育てたい」という目標を共有し、「第21回北園ウィンターフェスティバル」を開催しました。今年は、「国スポ・障スポ」のPRコーナーも設置され、多くの人でにぎわいました。このような地域学校協働活動は北園地区ならではのものであり、今後も大切にしていきたいです。

講堂が音楽ホールに！～吹奏楽部定期演奏会～



2月7日、本校の講堂にて、第33回北園小学校吹奏楽部定期演奏会を開催しました。素敵な演奏はもちろん、今年度の6年生7名のスピーチもあり、会場は温かい空気に包まれました。吹奏楽部の皆さん、感動をありがとう！

みんなが楽しめるスポーツ！～3年生ボッチャ体験～



ボッチャ体験を通して障スポに関心をもった子供たち。今年は「国スポ・障スポ」が本県で開催されます。本校でも応援のほり旗作成やダンスをとおして、スポーツを「する・みる・支える」態度を育てていきます。

総合的な学習の時間（すくすくタイム）に「福祉」をテーマに学んでいる本校の3年生。学習のまとめとして2月13日、太田修身さんを講師にボッチャを体験しました。用具やルールを工夫することで、誰もが一緒にスポーツを楽しめることを学んでいました。

お知らせ & お願い

- インフルエンザ等、感染症の流行は収まりつつありますが、引き続き体調管理にご協力ください。
- 3月19日（木）は卒業式です。1～3年生は休業日です。過ごし方について、ご家庭でもご指導をお願いします。